

開催報告

トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会 第12回 天王川自然再生ワーキンググループ



開催日：2016年12月21日(水)18:30～20:40

場所：トキのむら元気館 会議室

参加者：WGメンバー11名、傍聴4名

地域自ら河川の環境美化活動に取り組んでいる他県の例を紹介したうえで、自然再生後の天王川をどのような枠組みで維持管理していくかの議論を行いました。

今回は、8～9月に視察を行った滋賀県の「白鳥川の景観を良くする会」と「竜王清流会」の先進的な取組についてメンバーにご報告するとともに、天王川の自然再生後の維持管理を担う組織の枠組みについて議論しました。

組織の枠組みについては既存団体との関連性や活動資金などについて活発な意見交換をしていただきました。



意見交換の様子

会員のみなさんの雰囲気

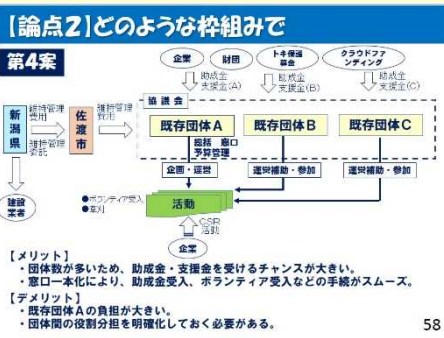
意見交換や現場の案内をしていただくときは、終始和やかな雰囲気でした。



活動を行う際には、必ず記念撮影を行うとのこと。我々がお伺いしたときも、バシャリ。

27

白鳥川の景観を良くする会



維持管理の枠組み案

参考となったこと(竜王清流会)

- 会長(女性)の強いリーダーシップで、県職員、町職員、町議、農業者など8名の役員を牽引し、活動している。若手の興味を引きつけるなど、今後の後継者探し課題。
- 善光寺川の荒れた状況を気にはなっていたが、活動できなかった住民も、会の立ち上げをきっかけに参加し、今では役員のひとつとなっている。



36

竜王清流会

先進的な取組に関する説明内容

- リーダー（組織の代表）のもと、皆が誇りをもって楽しみながら活動している。また、新入会員にも重要な仕事を任せるなど、人材育成にも努めている。
- 仕事をリタイヤした会員は、現役時代の経験と強みをいかした行動でも会に貢献している。
- 重機や乗用式草刈り機なども導入し、効率化、省力化に取り組んでいる。
- 活動後に食事（流しそうめん、カレーライス、豚汁等）を振る舞うなどして楽しめるイベント感をだしている。
- 桜の木にぼんぼりを灯したり、鯉のぼりの川渡しを行うなど、環境美化活動だけにとどまらない地域貢献活動を行っている。
- 各種助成金に多数応募したり、ぼんぼりに企業広告を入れるなど活動資金集めに努力している。
- 会の活動がマスコミに取り上げられたり、賞を受賞したりすることが活動の大きなモチベーションとなっている。

維持管理の枠組みに関する意見交換会での主なご意見

- 維持管理の枠組みに企業CSRを組み込むことは良いこと。さらに学生ボランティアも力となるので大学生という視点も加えるべきだ。
- トキの野生復帰を支援する事業なので、トキ保護募金も有効に使っていくべきだ。
- 既存団体が協議会をつくる枠組みが良いのではないかと。ただし、特定の団体に窓口業務などで負担がかかり続けるのは良くない。
- なるべく資金確保ができる枠組みとすべきではないか。
- 既存団体の協議会として、資金を出し合う形がよいのではないかと。その時に、協議会としての守備範囲についても明確にしていく必要がある。
- 官民協働的な仕組みとする必要がある。民だけの組織・運営・活動ではだめだ。
- 枠組みは維持管理の主体というだけでなく、自然再生の場の“利活用”の主体でもあるべきだ。

今後の予定

- さらに維持管理及び利活用の主体となる組織の枠組みについて議論を深めていきます。

天王川自然再生ワーキンググループの構成メンバー

- ◆ 地元集落： 潟上集落、正明寺集落、田野沢集落
- ◆ 関係団体： 佐渡生きもの語り研究所、トキとき応援団、潟上水辺の会、加茂湖漁業協同組合、佐渡島加茂湖水系再生研究所、生椿の自然を守る会
- ◆ 学校関係： 伝統文化と環境福祉の専門学校、佐渡市立行谷小学校
- ◆ 行政機関： 環境省佐渡自然保護官事務所
- ◇ 事務局： 佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市役所建設課、佐渡市役所農林水産課

問い合わせ先 新潟県 佐渡地域振興局地域整備部 担当) 計画調整課 水倉、藤澤

TEL : 0259-74-4040 FAX : 0259-74-2048 Email : fujisawa.masamichi@pref.niigata.lg.jp